

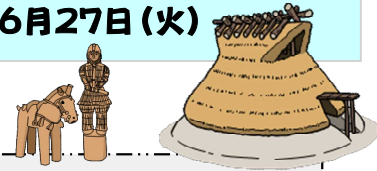


森町立飯田小学校 出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年6月27日(火)



「体験することによって、今まで動画や本の資料ではわからなかったものが、実感を伴った理解となっていました。」

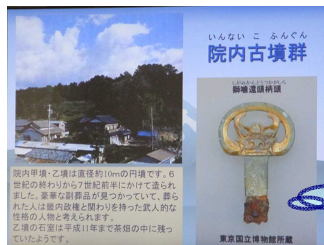
森町立飯田小学校の6年生28人が、歴史の学習を教科書や調べ学習だけではなく、体験を通してさらに深めることを目標に、職業講話、土器の分類、石器の試し切りの3つの体験を行いました。

職業講話(発掘調査 と保存処理の話)

埋蔵文化財センターの業務と鴨ノ前遺跡、鴨山遺跡、院内古墳群等の飯田小学校周辺の遺跡について話しました。発掘や遺物の保存方法の話聞く機会がありませんので、熱心に聞いていました。また、学校周辺には遺跡がたくさんあることも再認識しました。



「文化財センターの人が、資料集に載っている物を見つけて調べていたのを知れて良かった。」



石器の試し切り体験

金属のない時代には石や木が道具として使われていたことを学び、実際に発掘された打製石器や磨製石器を見て感激していました。次に、黒曜石で野菜や紙を切ってみました。本当に切れることに驚いていました。

「石で本当に切れるなんて思わなかったし、切れ味も良くてびっくりした。」



土器の分類体験

歴史の授業が古墳時代に入っていたため、縄文土器や弥生土器の特徴はわかっていました。ただ、須恵器については教科書に出てこなかったため、弥生土器との区別が難しかったようで、作り方を教えてもらい、分類することができました。本物の土器に触れることができ、貴重な体験ができました。

「須恵器は勉強していなかったの
で、他の土器との違いに気づけ
た。分類するのが難しかった。」



先生方の感想

「講話では、今後子どもたちが将来の夢を決めていく上で、どのような仕事をしているのか写真を交えて段階を踏まえた説明だったので、大変わかりやすかった。体験活動では、習熟した内容をおさらいプラス専門知識を合わせた学習ができた。体験することによって、今まで動画や本の資料ではわからなかったものが、実感を伴った理解となっていた。センターの職員さんは、子どもへの受け答えがとても良く、ありがたかったです。」

